ーとして協賛した埼玉

、会には9校から ム、204名が参

表彰式が3月10

本学がゴー

ルドパート

協力し、日本人に同国の

クライナからの避難民と チームに授与された。 筑波大付属坂戸高校の

伝統料理を紹介すること

支援に繋げようとするプ で同国への理解を促

年度は全国32都道府県の 19エリアにおいて開催さ

332校から175

7250名が

テストである。2023

賞が授与された。

(日本工業大学賞)

このうち本学の企業賞

企業賞、優秀賞、

プランを提案するコン

凹けたアクションアイデ がSDGSの目標達成に

リスト12チー

ムに対して

上尾市文化センターにお

して強く共感した。

式後には、

各チームが

とが整理された」と手応

今後やるべきこ

いて開催され、ファイナ

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 ☎(0480)34-4111(代)

> する周知を目的として た。毎年、一般学生に対

型の奨学金である。前年 優秀者を対象とした給付 新2~4学年の学業成績 学業奨励奨学金は学部 て設定されている。

年度、3学部3学年合計

RSが77名であった。 の認定者はESが34名、 免の形で給付される。今

に年額20万円が授業料減

スチューデント(RS)

2025年度入試の主

期制で実施。

2025年度入試情報

式が4月15日と18日、

両奨学金の認定証授与

通行が多い場所が式場と

秀であったエクセレン

ト・スチューデン

館一階のスチューデン

プラザにおいて行われ

令和6年(2024年)6月1日発行

高校生のアイデアコンテス S D G s 本イベントは、高校生 奨励奨学金 大川陽

## 認定は努力の結果 模範学生として期待



昼休みの時間帯に学生の 度1年間の成績が特に優

学業奨励奨学金受給者(建築学部)と竹内学長

ウクライナ支援のプランに本学賞 QUESTみらい甲子園 埼玉県大会 提案したプランを具現化 アイデアが生まれた するためのワークショッ ノ討論を通じて、新たな 自分たちの課題が明 が催された。生徒たち ムとのグル

ワークショッ えをつかんで いたようだ。 外業者に製品 金を集め、 ドファンディ て「今の時 イデアさえあ の総括とし ば、クラウ 竹内学長は

切った発想をしてアイデ 活用していただき、思 生産を委託するなど、 て励んでいただきたい (1 は事業化まで視野に入れ アをカタチにし、さらに た恵まれた環境を十分に ことは決して夢ではな 備投資なしで事業化する 皆さんには、そうし

積極的に発信していきた ルモデルとして学内外に 認定者は23名であった。 長の寄付による基金が原 験を大切にしてほし 力をすることによって見 い。そして皆さんには、努 資となっている。今年 返りがあるという成功体 成績優秀な大学院生が対 に対し「皆さんの実績に いては、本学学生のロー 竹内貞雄学長は認定者 大川陽康奨学金は学業 工学研究科全専攻の 故大川陽康前理事 一より家族や友人のサポー 認められた結果としてこ 期課程1年の川嶋涼太さ れからも努力を続ける るよう自信をもって、 築デザイン学専攻博士前 だ。他の学生の模範とな ることを認められた結果 て選ばれたことは、 支援部長は「認定者とし んは「学部時代の努力が んが学力と人間力に優れ る」とエールを贈っ 続いて、 認定者代表として、 い」と期待した。 上野貴博学生

きたい」と抱負を語った。 な研究に取り組むことに なるが、今回の認定を励 から大学院でより専門的 トに感謝している。これ る方を求める入試を新 第1期、 第2期の2

強い意志があり、 のある方を求める入試を 学びたいという強い意志 の教員を目指し、 に活動等をアピールでき ◆総合型選抜 本学で学びたいという (活動アピール型) 積極的

合でも、入学検定料が 複数学科に出願した場 15000円とな

募集要項を参照)。 な変更点は次のとおり 、詳細は受験ガイド、 特別選抜(教員志望) 高等学校または中学校 本学で 各 ◆一般選抜 ◆学校推薦型選抜

制。数学の記述式を廃止。 導入。国語と理科の選択 ◆共通テスト利用 (現代の国語、言語文化)を に変更。受験科目に国語 A日程4日間を2日間

の方はQRコード ◆大学案内などの 2025年度 新しい冊子を や「受験ガイ

から理科を廃止。 36単位を修得済み 以上在学し、標準 ◆編入学試験 日本留学試験受

◆外国人留学生す ( 験科目

(公募制)

入試奨学金

(20万円)

## NIT Open Campus

## 夢中が見つかる! オープンキャンパス

大学・学部学科紹介、体験授業、入試説明会、個別進学相談、キャ ンパスツアーなどを実施します。今年度も学生スタッフが中心と なって運営を行い、特別講演会の開催など、高校生や保護者の皆 さんがより充実した時間を過ごせるイベントを用意しています。



2024年度の実施日程 ※詳細と予約は右のQRコードからご覧ください

6/23<sub>9</sub> 7/13<sub>9</sub> 7/28<sub>9</sub> 8/24<sub>9</sub> 3/22<sub>9</sub>

2025

#### 新たな100年をつくり、育むため ご協力をお願いいたします

「みらい募金」は本学が重点的に取り組む以下の4事業の中から、寄附 者が使途をご指定いただける募金制度です。

■奨学金の制度・拡充

学業奨励奨学金(右上記事参照)、資格等取得奨励金等

■施設・設備の拡充

教育、研究、学生活動支援のための環境整備

・研究の推進

ICT教育等、学生の能力開発の推進、SDGs活動の支援等

■その他各事業の推進

学園全体もしくは埼玉キャンパスにおける各種事業

2023年度は個人、法人合わせて166件、7,600万円余りの寄附をいただ きました。学園のさらなる発展のために活用させていただきます。

金額(円) 1. 奨学金の制度・拡充 3,879,940 3,119,940 62 奨学金 760,000 育英寄附金 2.施設・設備の充実 15,070,500 15,070,500 特別寄附金 56,350,752 3.教育・研究の推進 教育・研究の推進 29,880,870 24 研究奨励寄附金 26,469,882 28 4.その他各事業の推進 1,301,000 14 76,602,192 166



100円朝食(4.その他の事業)

みらい募金の詳細・お申込み https://nitmb.jp/candomb/

合計

海 道

9

#### 2024年度 科学研究費助成事業内定

4月1日、日本学術振興会より本年度科学研究費助成事業の交付内定が通 知され、本学では新規18件、継続27件の研究課題に対し助成交付が内定も しくは決定された。

本学教員の研究課題の範囲は、ものづくりの基盤を支える技術、AIやIoT といったDX関連などの先端技術から人文社会分野に至るまで多岐にわたっ ている。

令和6年度(2024年度)科学研究費助成事業 交付決定者・内定者一覧						
研究種目	学科	職	研究代表者 氏名	継続/新規	採択 年度	研究課題
基盤研究(C)	情報メディア 工学科	准教授	加藤 利康	新規	2024	タンジブル教材を用いたAIリテラシー学習のための AI分析による支援システムの展開
基盤研究(C)	データサイエンス 学科	教授	吉野 秀明	新規	2024	遅延要件の厳しいIoTアプリケーションを実現する ための最大遅延抑制制御
基盤研究(C)	建築学科	教授	那須 秀行	新規	2024	NLT (Nail Laminated Timber) の耐力壁利用に資する実験と解析および構造設計式の構築
基盤研究(C)	建築学科	教授	吉野 一	新規	2024	油煙の粒度分布に基づくグリスフィルタの除去性 能試験法の開発
基盤研究(C)	建築学科	教授	木下 芳郎	新規	2024	市街地における社会実験実施時の局所的・広域的 な人の流れの調査と評価方法の開発
基盤研究(C)	建築学科	准教授	田中 章夫	新規	2024	高所作業検査の省力化を目的としたサブテラヘル ツ波による複層構造の理解
基盤研究(C)	機械工学科	教授	加藤 史仁	新規	2024	塑性変形を与えたPdAu合金膜の水素吸蔵反応機 構究明とデバイス応用に関する研究
基盤研究(C)	応用化学科	教授	大澤 正久	新規	2024	カチオン性金二核錯体上での分子変換反応 細胞透過人工タンパク質による低分子抗がん剤の
基盤研究(C)		教授	佐野 健一	新規	2024	細胞内ドラッグデリバリー フォトトロピンを介した緑色光シグナル伝達機構の
基盤研究(C)	応用化学科 電気電子通信	教授	芳賀 健	新規	2024	解明 マルチチャネルオーディオに対する電子透かしに基
基盤研究(C)	工学科	教授	木許 雅則	新規	2024	でいたデャイルカーディオに対する電子透がした番 づく改ざん検知方式 不特定ユーザへ適用可能な深層学習による表面筋
		准教授	田村仁	新規	2024	電位を用いたハンドジェスチャ判別手法 「魅せたい」自分を表現するための歩行の運動学的
基盤研究(C)	共通教育学群 データサイエンス	講師	齋藤早紀子	新規	2024	機序の解明 Al支援ソフトウェア工学に対応したソフトウェアイ
基盤研究(C)	学科	准教授	橋浦 弘明	新規	2024	AIX 援フラドウェアエチに対応したフラドウェアインスペクション環境の研究 学習と記憶との関係性に対するメタ認知の役割の
若手研究	共通教育学群 	准教授	山口 剛	新規	2024	解明 粉体を用いたジェットの動的性質解明及び液体系
若手研究	機械工学科	助教	小林 和也	新規	2024	が体を用いたフェットの動品性負債所及の液体系との普遍性探究 Motion-Less VRの研究:下肢を対象とした装置の
若手研究	ロボティクス学科	助教	望月典樹	新規	2024	開発と性能の評価
差 整 研 究 (C)	建築学科 共通教育学群	助教 講師	深和 佑太 内藤 貴仁	新規継続	2024	空間特性を考慮した半屋外空間の熱的快適性評価 自由ループ空間のディフェオロジカル de Rham コ
基盤研究(C)	建築学科	准教授	工藤 瑠美	継続	2023	ホモロジーの研究 歩行時の摩耗による床のよごれとすべりの評価方
基盤研究(C)	電気電子通信	教授	木村 貴幸	継続	2023	次世代配送計画に対する非線形力学系理論を利用
基盤研究(C)		教授	内田 祐一	継続	2023	したハイパーヒューリスティック手法 多成分酸化物融体中の鉱物相偏在化現象の解明 と有用資源回収技術への展開
基盤研究(C)	応用化学科	教授	伴 雅人	継続	2023	ダイヤモンド状炭素薄膜を用いたナノプラスチック  のヒト神経系細胞への影響調査
基盤研究(C)	応用化学科	教授	白木 将	継続	2023	酸化物固体電解質を用いた全固体薄膜電池の作製とその電気化学評価
基盤研究(C)	応用化学科	教授	池添 泰弘	継続	2023	永久磁石を用いた反磁性物質の磁気浮上デバイス の開発とその応用
基盤研究(C)	ロボティクス学科	准教授	大久保友幸	継続	2023	ロービジョンのための網瞄ディスプレイによる先行
基盤研究(C)	情報メディア 工学科	教授	杉森 順子	継続	2023	設営と保立を自動化する360度プロジェクション
挑戦的研究 (萌芽)	建築学科	准教授	箕輪 健一	継続	2023	形状記憶表材を用いた様々が更因に一貫して対応
基盤研究(B)	情報メディア 工学科	教授	呉本 尭	継続	2022	機械学習を用いた古琴譜の識別及びAIによる自動 打譜の試み
基盤研究(C)	共通教育学群	准教授	吉田 要	継続	2022	詩が生まれる場所~19世紀女性詩人たちの農業詩学
基盤研究(C)	機械工学科	教授	神 雅彦	継続	2022	超音波振動を応用した微小摩擦の理解および精密 リアルタイム摩擦制御に関する研究
基盤研究(C)	機械工学科	教授	桑原 拓也	継続	2022	水で水をキレイにする燃料電池を用いた低温プラ ズマ水質浄化装置の高機能化
基盤研究(C)	ロボティクス学科	教授	浦川 禎之	継続	2022	人とロボットの衝突における衝撃力緩和動作制御 技術の研究
基盤研究(C)		助教	野口 憲治	継続	2022	オランダ商館員がみた近世町家の地域的特質 大規模災害に対する複数ドローンを用いた情報収
基盤研究(C)	データサイエンス 学科	准教授	松浦 隆文	継続	2022	集経路問題のモデル構築と解法の開発
基盤研究(C)		教授	新倉 謙一	継続	2022	低分子を組み合わせてつくる分解性ナノ粒子の合成とワクチンへの応用
基盤研究(C) 挑戦的研究	データサイエンス 学科 電気電子通信	教授	高瀬 浩史	継続	2022	IoT技術を活用したフットマッサージの動作スキル習得支援システムの開発 雷の音によるシイタケ子実体形成促進のメカニズム
(萌芽)	電気電子通信 工学科	教授	平栗 健史	継続	2022	解明
字術変車領 域研究(A)	応用化学科	准教授	小池 隆司	継続	2021	高度プログラム合成光化学 小さな芳香環を基盤とする有機光レドックス触媒
基盤研究(B)		准教授	小池 隆司	継続	2021	不さな方音環を基盤とする有機ポレトックス 服 系の開拓 グローバル化時代における視覚特別支援教育と日
	共通教育学群	准教授	河住有希子	継続	2021	本語教育の有機的連携に向けた基盤構築 ことばで共同体を紡ぐ〜ポエトリー・リーディング
若手研究	共通教育学群	講師	関根 路代	継続	2021	の社会的意義に関する研究 ミャンマー人留学生の円滑な数学学習を目指したオ
若手研究	共通教育学群	准教授	高岡 邦行	継続	2021	ミャンマー人留学生の円滑な数字字質を目指したオンデマンド型eラーニング教材の開発 学習が成立するまでの過程におけるメタ認知の役
若手研究 —————	共通教育学群 データサイエンス	准教授	山口 剛	継続	2021	割の解明
基盤研究(C)	学科	教授	条野 文洋	継続	2019	社会実装型PBLのリスク分析手法に関する研究

## 生の出身地マッフ

2024年度都道府県別入学者数がまとまった。総入学 者数は831名、うち女子学生は100名である。都道府県 別入学者数は昨年に続き埼玉がトップで329名。次いで 栃木が98名、茨城75名、東京74名、群馬55名がベスト 5。入学者は、全国28都道府県から集まっている。

2024年度都道府県別学部入学者数 秋 田 岩 手 ※編入学生、および秋季入学者の数は含まない 外国人他 2 3 47(8) 831 (100) 形宮城 〈凡 例〉 6(1) 5 入学者総数(女子内数) 石川 福島 100人以上 0 18(3) 50人以上100人未満 富 兵庫京都 福井 群 馬 栃木 取 山 0 0 0 55(3) 98 (22) 75 (5) 10人以上50人未満 山口 広島 岡山 阪 滋賀 阜 埼 玉 岐 長 野 大 1人以上10人未満 0 0 0 1(1) 0 0 17(3) 329 (32) 千 葉 50 (5) 長 崎 佐 賀 福岡 良 山 梨 東京 奈 愛知 1 0 0 0 13(2) 74(11) 愛 媛 香川 1(1) 0 本 大 分 和歌山 神奈川 0 0 0 2(1) 4(1) 高 知 徳 島

●新入留学生の出身国と人数

人数 44(8) 国籍 インドネシア 1(0) マレーシア 1(0) 計 合 46(8)

※カッコ内は女子内数

教育サービスを受ける

い手」の立場にあっ

業料という対価を払って

・2年生のうちは授

較であって、いつの時代呼ばれていた時代との比 手市場」と言われている いることに気づく。 手市場」の言葉を鵜呑みんでいる現在は、「売り 今年の採用動向ではある 業に買ってもらう「売り なって就職活動を始める た大学生も、3年生に らうことは非常に難しい。 も顧客に何かを買っても が、これは氷河期などと の早期化」がさらに進 特に「就職スケジュー 昨年にも増して「売り の立場に立たされて 自分という人材を企

0

鹿児島宮 0

4

にして安易に構えている

業界・業種セミナー

た 非

常に難

の就職支援を活用」 「大学の卒業」と「大学

の 2

ている。新3年生には にこなせる人材」となっ ンは「普通の業務を普通 の求める人材の最低ライ

い。「自分はこ

ことは、これま これらをこなす (2023年度)

と「自己分析」 界·業種研究」

売り手市場の今、

企業

大学生が一人で

0

できない。 戸建て住宅を売ることは 売り手として 握しなければならない。

ろうと、大学生を相手に なる。 と、友人たちが多くの内 持ったセールスマンであ 態になって慌てることに 分だけが内定のない、 定を獲得しているのに自 ノー内定 (NNT) の状 神のような営業技術を

ような競合品が多数ある とが必要だ。また、似た のうちの何が顧客のニー る商品の特徴は何か、そ は、自分が取り扱ってい ズに適うのかも正しく把 中、顧客の心をつかむに るのか正確に把握するこ

正しく行動するために 顧客が何を求めてい

イスが欠かせない。 う見える」というア 就職支援課では、 「社会人の目にはこ 売り手市場」を甘く見ず着実な活動を

就職支援情報

えるのが「業 いてこれらを考 就職活動にお り、また、学内の業界・ 参加を待ち望んでいる。 業種セミナー 多数の企業が本学学生の で求人募集を行っている 大生の特性を理解した上 研究セミナーには、 指導などを受け付けてお 書の添削や模擬面接での エントリーシートや履歴 や合同企業 旦

パスライフを送れるよりでも早く楽しいキャンリでも早く楽しいキャントで開催された。女子学 ン&トレビ(学食)にお のための交流会がキッチ 4月3日、 李 生のための交流会 る。今年は女子新入生1 00名のうち91名、先輩



催さ

ランチを楽しみながら先輩や教職員と懇談

を予定して ミナー等の実施 た。 笑の輪が広がっ 今後は防犯セ

委員会活動やクラブ活動 趣旨説明のあと、先輩が 長、上野学生支援部長、女子学生9名、竹内学 女性教職員15名が参加。 で紹介した。学 の楽しさにつ を交換するな 生同士で連絡先 ど、和やかな談

#### 新入生勧誘イベント「春祭り」

学生自治会主催の「春祭り」が4月10日、 本館と5号館を会場として開催された。委員 体育系・文化系クラブ、各種サークルか ら多くの団体が参加し、新入生勧誘と学生同 士の交流を目的とした展示や体験型イベント を実施。新入生たちは先輩の説明を興味深く 聞きながら、各団体のブースを巡った。5号 館の大教室ステージでは音楽団体によるライ ブが行われ、大変な盛り上がりを見せた。



語」の基盤を固めるた 要な「物理」「数学」「英 め、各科目を習熟度別に して、工学を学ぶ上で重 工学基礎教育の一貫と

収めた方に給付する奨学 金を新たに創設した。学 校推薦型選抜(指定校) トテストで優秀な成績を **度入学者より指定校奨学** で合格し、プレースメン 本学では、2024年 る。 して98万円を7名、49万 者のうちテストの成績上 型選抜(指定校)の入学 メントテスト)を4月2 れら3科目のクラス分け 講義を設置している。こ 20万円が20名に給付され 免)。入試奨学金として、 円を14名に給付(学費減 位者には指定校奨学金と 日に実施した。学校推薦 を行うテスト(プレース

金である。

# 今年度は21名に給付 指定校奨学金(給付型)創設

材、高齢者雇用、副業の推 得る問題であり、外国人 照らし、必然的に発生し が進展する日本の現状に

など、様々な人材の確

う視点を提示したい。

え、SDGsに通底する

のの不登校の状況となっ

が出発点として必要だ。 の側にあると考えること

そもそも社会の構成員

多様であり、いろい

朝一夕では難しいかも

豊かな発想でデザイン

今年度も高校生を対象としたデ

に、就労年齢ではないも

ている全国の小・中学生

う。ここではそれに加

理念でもある包摂性とい

避のチャレンジであろ 可能な未来に向けて不可 を切り開くことは、持続 スと潜在能力の活用の道

とが分かっている。さら 人(厚生労働省)いるこ

な主体の雇用へのアクセ つくれていなかった様々

身体的、

あげて模索されている。 保・活用のあり方が官民

歳の約150万人がひき

現在、全国で15歳~64

部科学省)。その他にも は約30万人にのぼる(文

様々な理由により、社会

社会が今までは機会を

れている(内閣府)。ま こもり状態にあるといわ

る人は少なくない。

こういった困難に直面

る。少子高齢化、人口減少

企業倒産が急増してい

人材不足による

的に何等かの障害を抱え

その原因があると考える

抱える問題を個人の側に

いる人は約1200万

# 宮代町教育委員会と共同で 地域連携事業

食育支援アプリを開発

の学生が、宮代町教育委 の荒川俊也教授と同学科 た食育関連教材が欲しい アプリ」を開発した。 員会と共同で「食育支援 データサイエンス学科 情報通信技術を活用し

成させた。 月から約6か月を経て完 参加希望学生を募り、7 頼に応じるため、荒川教 授が本プロジェクトへの いう同委員会からの依

| 学びが定着していること 実施。食品カードをド ム」を用いた研究授業を を動かせ!食品分類ゲー 行った小テストの結果、 で、アプリ学習前後に 動させ正誤を競うアプリ ラッグしそれぞれの栄養 素が書かれた分類表に移 も確認できた。 現時点では

井出さん が、今後同委試用段階だ 員会と完成に 用を開始する の小学校で運 重ね、今年度 向けて試用を 予定となって より町内全て

アプリを開発した(左から)乙部さん、 金剛寺さ ん、河野さん、

専門職大学院だより

八取り残さない社会に向け

大学院技術経営研究科·教授

中村

明

と考える人が少なくない の要因は個人の側にある は、こういった事情の発生 していない人たちの中に

提に誰もが排除されない

ることが肝要だ。 社会づくりや経営を考え

された作品を募集

## 成したアプリ「食べもの 立須賀小学校で学生の作 2月26日には、宮代町 被災自治体の定住を支援 さんが参加。町民を前に 鈴木健太さん、関口総司 (当時)の清水太陽さん、 スマート農業の普及で

成果報告会を行った。 島県楢葉町で現地調査と 2月21日から1週間、福(荒川研究室)の学生が データサイエンス学科

で昨年10月より約6か月

モノづくり」というプロ

クトに取り組んだ。

を抱えている。学生たち 促進を目指すことを目的 はこの問題を緩和し定住 戻って来ないという問題 住が進み、町へ若者が た同町では避難先への移 原発による被害を受け 東日本大震災や福島第 同町からの要望



取り組めるコンテ 知識がない人でも

ンツを開発。若年

の研究シーズ検討案につ

者への取材やブレインス を実践している工場関係 の町役場やスマート農業 をテーマに行われ、現地

トーミングを実施。今後

ンセプトに、専門

マート農業」をコ 誰でもできるス

成果報告会における学生発表

就農者増加、後継 層や未経験の新規

者問題緩和などが

校生対象のコンテストを実施

2月27日、「定住 期待される。 成果報告発表は

障害や困難の原因は社会 ことが妥当であろうか? が、これだけ多くの人が 働作業が<br />
不可避であろう。 を解消し、多様な人材に 引き出すことにつながる 様な主体の意識変革と協 はずだ。その実現には、多 をつくることは、個々の 社会での活躍の場と機会 在する障害や困難の原因 人間と社会の潜在能力を 物理的・非物理的に存

まずは、その認識を改め、

ろな事情を抱えている。 いった多様性の存在を前 も将来的に事情が変化す 現時点では、何もなくて る可能性もある。そう 会の実現があるはずだ。 変える努力の先に、個々の 人取り残さない包摂的社 れないが、地道に社会を

21日まで。

## e-sportsを通して 教育への理解を促進 果を踏まえ、本イベント アリングを実施。その結 力で昨年9月に町内でヒ

らはゲーミングパソコ

ン」の提供を企画した。

環境マネジメント活動

そのパソコンで、ゲーム

町民がIT教育に

2023年度のトピッ

rtsを通じて、

学生によるSDGs活動の新たな取組

T

ロボティクス学科3年 町で行われたイベント チャレンジならは」に 3月2日に福島県楢葉 きるイベントを催した。

自作ゲーミングパソコン一る。学生たちは同町の協 の組み立てを実演し、e ンテストで提案したアイ デアがベースとなってい - sportsが体験で 学内のビジネスプランコ 本活動は、清水さんが

おいて町民向けの の得点を競うe - spo (左から)鈴木さん、関口さん、清水さん

語っている。 なってくれれば嬉 が少しでも低く い」と感想を

促進を目指した簡単に体

験できるスマート農業

験を通して、PC る清水さんは「体 ランの発案者であ 触れるきっかけを に対するハードル つくり出した。 員会メンバーを中心と クスは、学生環境推進委

とである。本件は、福島 支援事業」に参加したこ の力を活用した集落復興 見町塩沢・十島地区を対 的としており、本学は只 進む集落の復興支援を目 県内の過疎化・高齢化が

続き実証事業として参加 発表した。次年度は引き 態調査を行い、検討会議 や行政の方々と集落の実 象とする支援に取組ん を経て、2月の実態調査 だ。今年度は、地域住民 この他の活動で、

で、環境面・経済面での サイクルショップ」であ 各局のTV取材を受け、 で配布・配達するもの 家電家具を新入生に無料 る。卒業生から回収した 特に注目されたのは「リ ある。脱炭素への取組み ラルロードマップの20

策は、カーボンニ

ユート

取組む重要な環境負荷対 NIT-EMSが現在

だきたい。

福島県主催「大学生

福島県只見町における実態調査

QRコードからご覧いた「活動の記録」は下記の 年間を通し、 ロジェクト」

動を実践した。独自の学生環境活 ロジェクト」等、た「リユース傘プ 本学

等の遊休品を使っまた、忘れ物傘 賑わった。 及び保護者が訪れ 日、多くの新入生 開催

式前日の!

Agreement=電力販売 契約)」の導入を具体的 契約)」 発電利用のPPAとして「大規模な太陽光 の活動実績は下記のQR (Power Purchase 村田教授が から、大学サイト

み

環境活動記録 学生による

取り組みの

をご覧いただきたい。の「環境への取り組み」

## 新のCZCエ 作機械を寄

最

科の村田泰彦教授が20 ター長を務める機械工学 機械実工学教育セン

22年5月と昨年9月、 に寄贈り による工作機械「ロボド リル」2台を同センター コンピュータ制御(CNC) した。多くの学生



用していただきた励むために有効活 る。村田教授は 圏に活用してい 機械を体験し、実 いたり、 職員が技能向上に 学生が技術を磨 期待する。 センター

## 造形部門の4部門であ 参加登録は8月 グ部門の優秀賞(昨年)

#### 今年は遠隔開催。製作講習会を実施

型ロボットを製作し、自律的にコ スを走行、タイムを競う競技であ 第18回となる今回大会は遠隔 参加申込は8月1日~ 11月20日。競技結果提出締切は来 年1月10日。マイクロ

ロボットの製作講習会 パス時にも実施予定。









ライン上のコースを走る1インチロボット

## 第38回 建築設計競技

## 肝っ玉母さんのような家、あるいは頑固親父のような家

建築を学ぶ高校生を対象とした 建築設計競技。今年は、肝っ玉母 さんのような家、あるいは頑固親父 のような家を募集する。審査は建築 家の坂牛卓氏、本学建築学部の西 本真一教授、竹内宏俊准教授が担

当する。提出期限は8 月31日。審査結果は9 月中旬、下記ウェブサ イトにて発表される。



優秀作品はLCセンターで展示

※受賞記事は受賞時の学年(2023年度)で表記しています

専攻博士前期課程2年

電子情報メディア工学

圧縮では位相変調用符号 能向上技術であるパルス の提案」。レーダーの性 る幅広2値符号の探索法

音さんの受賞論文題目は (高瀬研究室)の木村圭 傻秀論文発表賞 埼玉支所研究発表会

優秀論文発表賞、学術奨励賞

電気学会東京支部

(3月5日)

呉本尭教授と雷鳴さん、



俊祐さん、小竹望未さ 年(木村研究室)の芳我

学生論文賞

電気電子通信工学科4

削減が期待できる。

小竹さんの受賞論文は

探索法とイジングマシン

を用いた幅広2値符号の 文は「量子アニーリング

で人件費や配送コストの この結果を分析すること 信号処理学会

する手法について調査。 オス探索法の性能を向上

コスト削減に繋がりそう

私立大学環境保全協議会

木村圭吾さんの受賞論

2、電子情報メディアエ

吾さんが3月1日、ハワ

一のワイキキで開催され

(高瀬研究室)の木村圭

学専攻博士前期課程2年

の性能調査」。配送時の

を向上させるための新し

ではレーダーの探知性能

協議会の功労賞を受賞し

構築、廃棄物対策、化学

トシステム (EMS) における環境マネジメン

物質対策、各種関連組

た。長年にわたり役員

長が、私立大学環境保全

MS事務局の原渡事務局

3月1日、NIT-E

同協議会は、私立大学

による探索実験」。本研究

応的蟻コロニー最適化法 「2-0pt法を用いた適

巡回路の最短距離を求め

おいて最優秀論文賞を受 会議 (ICIARE) に 的応用研究及び教育国際 が12月23日、第11回革新 2022年秋学期卒業 表情認識」。 賞した。受賞論文題目は YOLOv5による顔 分野での活用が期待され 開発。コミュニケーショ 7種類の感情が認識でき ると高く評価された。 からビジネスまで幅広い ンの促進に貢献し、教育 るオンラインシステムを に識別し、喜怒哀楽など メラに映る顔表情を瞬時

## 体検出アルゴリズムの1 本研究では、高速な物 学生奨励賞 日本塑性加工学会

つYOLOを用いて、



んが3月11日、日本塑性 研究室)の波多野滉也さ 博士前期課程2年(瀧澤 機械システム工学専

くと、ある点を境に大き 受賞した。受賞研究名は 加工学会の学生奨励賞を 析による精度検証」。 降伏曲面測定のための 金属板に力を加えてい 一軸応力試験法の数値解

一く変形するが、この力の

を行った。材料の特性を 法の精度に関する研究で 数式化する際の材料試験 証および測定範囲の拡張 る。本研究では金属板の 大きさが降伏点と呼ばれ 各種試験の測定精度の検 降伏曲面測定について、

一度向上に寄与する。 シミュレーション)の精

あり、金属板製品を製造

する際の事前検討(数値

現地の教職員と交流 本学は科学技術振興機 1

ドのタミルナードゥ州の 来3回にわたり、南イン 機として、2019年以 プログラム」の採択を契 事業「さくらサイエンス 構(JST)の国際交流

大学、高校から視察や研 ンター長の桑原教授、 部長、グローバル教育推 修を受け入れてきた。 進室の山下室長が同州カ け、英語学習サポートセ ルール県に赴き、工科大 園情報システム部の石井 3月3日から5日にか

合!メイドインみやし

物公園駅前

するお店や作家が大集

場所:無印良品東武動 開催時間:10時~14時 開催日:6月22日(土)

宮代町を中心に活動

ろ推奨品の販売や、

ークショップ、ライ

観光担当0480-3 問合:産業観光課商工

イベントを開催しま

4

学(MKCE)、 高等学校

表彰状を受け取る原事務局長

活動の在り方の検討など

MKCE訪問時には執行部メン

ノ宮進一教授

55社が加入している。 ており、会員132校、 の幅広い活動をおこなっ

# 新任教員紹介

木村さん 情報メディア工学科 本池 巧教授

論文賞を受賞した。

芳我さんの受賞論文は

を求めるため、

よって、作業時間短縮や 短距離を求めることに や交通などの巡回路の最

物流の効率的な配送経路 用いたカオス探索法」。 くショップにおいて学生

信号処理学会国際ワー

画問題に対する効果的な

適応的時間枠違反係数を

の性能を調査した。物流

くすることを目的に、 法における計算量を少な る手法に関して、この手

の性能向上を目指す。

きた実績が称えられた。

一のESD教育やSDGs

円滑化、教職員・学生へ

織・施設の運営・管理の

の発展に寄与、貢献して

(理事)として同協議会

粉の省力化、花粉使用量 電気学術奨励賞 抑制が期待できる。 (3月31日)

が用いられる。その一種 増加という課題に対し 源と花粉噴射装置を搭載 の負担増や花粉の使用量 の人工授粉における農家 噴射装置の検討」。従来 た人工授粉のための花粉 は「小型ドローンを用い し、受粉可能な花まで自 小型ドローンに高電圧電

青山さん(左)と小竹さん めたとして表彰された。 生員として研究・学業に 年の2名が、同支部の学 精励し、優秀な成績を収 電気電子通信工学科4

的に符号を見つけること 従来の探索法よりも効率 索できることを示した。 向上に繋がると期待され ができ、レーダーの性能 子アニーリングにより探 である幅広2値符号が量 電気電子通信工学科4 律飛行し、花粉を噴射す

奨励賞を受賞した。 研究成果を収め電気学術 研究において最も優秀な 幸瑶さんは、 平栗研究室所属の青山

同科の卒業

社会で普及しつつあるリ す。今は、コロナ以後の アラブル端末の活用で

モートでのコミュニケー

どを用いたリアルな体験 ションの場面で、ARな

の実現に取り組んでいま

す。これから、学生の皆さ

んと一緒に、ゲームなどの

るシステムを試作した。 これが実現すれば人工授 の女子学生の中で優秀な 奨励賞を受賞した。 望未さんは同科・同学年 木村研究室所属の小竹

> 法などに取り組んでいき への効果的な埋め込み方 デジタル空間の現実世界

たいと考えています。

歩紀さんの受賞論文題目 年(清水研究室)の大永

> 高大連携推進室 豊田 清明教授



林 正弘准教授

しました。昨年度末まで 長・教授として着任いた 学に高大連携推進室副室 と伝統のある日本工業大 令和6年度より、歴史 ました。 学科の授業を担当してき 非常勤講師として機械工 の関連企業に勤める傍ら 昨年まで精密測定装置

たスマートフォンやウェ

、Webを使っ

がら、高等学校と大学と 政経験、高等学校教育に おりました。これまでの おける経験等を活かしな 埼玉県教育局における行 は、高等学校長を務めて 軽に訪れてください。 属していない開かれた学 研究対象としていきます。 す。これらの所蔵品等を の進展を見る事ができま 機械に時代の背景や技術 を多く所蔵しており、各 博物館はどの学科にも 博物館では、工作機械

回路設

求し、住宅・建築設計に

ファレンス)2024発表

rence:米国制御コン

工業技術博物館 電気電子通信工学科



芝に勤務し、大形発電機 前職は電機メーカの東

阿南工業高等専門学校

と深堀する苦しみ?楽し うことはどんどんやりた のモノ・コトづくりをし さを仲間と味わって、 立ちそうな面白い!と思 ていました。回転機の絶 びを進めてほしいです。 使って失敗して、なんで? いです。頭と手と身体を 構が専門ですが、世に役 縁やモデリング、摺動機 楽しんでいきまし 計・実装が体験できます。 ログラミング、 す。私の研究室では、プ 路の設計にも応用できま い変換効率を持つ電源回 象の解析・制御に従事し 力学、特に充電器などの 号を取得し、本学に着任 ぜひ一緒にものづくりを ていました。これは、高 電源回路で起こる分岐現 で教員を務めながら博士 しました。専門は非線形

電気電子通信工 内野 翔太助 学科



年導入事例が増えている 進めています。特に、近 え直すべく、主に滞在者 の快適性に関する研究を 境要因から建築設計を捉 温熱・光・音などの環 議 (MIC2024) にて研 リスティクスに関する国際会 究論文発表 目的=2024年メタヒュー ランス (6/2~6/9)/ イエンス学科)/出張先=フ

な建築環境のあり方を追 (7/7~7/13) /目的= Control Confe ACC (American ス学科)/出張先=カナダ ◆浦川禎之教授(ロボティク ssion I Sympos chnical Commi 国際会議(ISPRS Te ium)への参加

# ンドの各種学校訪問 学校(SSJTC)

一ジがあり、 り前になる日を目指した ら「両国の生徒・学生、教した。インドの担当者か い」という強いメッセー し、お互いの往来が当た 職員間の交流が本格化 (SSV BV) その想いを共 )を視察

ミヤシロまーぶる

越しください!

宮代町 だより

マルシェです。ぜひおくの楽しさが混ざったす。食べる・作る・聴

248号

マルシェを開催

山口剛准教授 ◆総合企画室・IR担当補佐 【任命】 (4月1日付) 解任】(3月31日付)

カ(5/7~5/15)/目的

The Other Art

◆進藤卓也助教(電気電子通 ンポジウムにて研究発表

信工学科)=同前

◆大久保友幸准教授(ロボティ

ア工学科)/出張先=アメリ

目的=2024年IEEE回 ポール (5/18~5/23) /

路とシステムに関する国際シ

◆石原次郎教授(情報メディ

ーと懇談

◆瀧澤英男教授(機械工学科) ◆工学部機械工学科長 ◆加藤史仁教授 (機械工学科) Fair Dallas 20

/出張先=フランス (4/23 ◆木村貴幸教授(電気電子通 の研究発表 ンサ技術に関する国際会議で ~5/16) /目的=バイオセ /出張先=スペイン (5/10

> =自律移動ロボットに関する 力(5/29~6/6)/目的 クス学科)/出張先=アメリ

GVC2024 (Inte

ligent Ground

国際会議ESAFORM20 4/28)/目的=塑性加工 信工学科)/出張先=シンガ

Vehicle Compet

tion) での成果発表

24での研究発表

深和 佑太助教 建築学科

ティクスに関する国際会議に

=2024年メタヒューリス

て研究発表

ス (6/2~6/7) /目的

信工学科)/出張先=フラン ◆木村貴幸教授〈電気電子通

◆松浦隆文准教授(データサ

た生活を送るために必要 べての人が健康で充実し ような活動を通して、す 験を行っています。その 半屋外空間の熱的快適性 に関心があり、様々な実 学科)/出張先=アメリカ (6/9~6/16) /目的= ◆石川貴一朗准教授(機械工